

経済学部教育理念・目標

経済学部は、「グローバルな視野を持って現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念として、現代経済社会の諸問題を解決し、社会の調和的発展に貢献する人材の育成を教育目標としています。

経済学部のディプロマ・ポリシー

経済学部の教育理念を満たす人材は、広い教養や経済・経営に関する知識を持ち、問題解決とその結果の伝達に関する知的技術を身につけ、これら知識と技術、さらに創造的思考を組み合わせ、問題を論理的に俯瞰し、主体的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。このため、以下のディプロマ・ポリシーを満たした者に対して、学士（経済学）の学位を授与します。

共通の学修到達目標

- ・ DP1（課題発見力・探求力）：現代社会に内在する諸課題を発見、これを探求し、解決しようとする意欲と能力を身につけている。
- ・ DP2（横断的基礎知識）：経済、法、経営、会計といった社会科学分野全般の学問に対して幅広い知識を身につけている。
- ・ DP3（高度な専門知識）：経済もしくは経営の分野に関する高度な専門知識を身につけている。
- ・ DP4（知識の応用及び課題解決力）：専門知識を駆使して、現代社会の課題を解決する応用力を身につけている。
- ・ DP5（価値創造及び発信力）：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。
- ・ DP6：所属するコースの学修到達目標を達成している。
- ・ DP7：所属する領域の学修到達目標を達成している。

経済コースの学修到達目標 DP6-1

- ・ 経済・金融及びこれに関する法律について高度な専門知識を身につけている。
- ・ 経済学・金融及び法学といった学問体系に基づいて、現代の経済社会を分析することができる。

経営コースの学修到達目標 DP6-2

- ・ 経営・会計及びこれに関する法律について高度な専門知識を身につけている。
- ・ 経営学・会計学及び法学といった学問体系に基づいて、現代の経済社会を分析することができる。

国際ビジネス領域の学修到達目標 DP7-1

- ・ 国際的な枠組みの中で経済, 経営, 政治, 法律を把握・理解する能力を身につけるとともに, 国際的諸問題を分析, これを解決する意欲をもっている。
- ・ 外国語によるコミュニケーション力を有するとともに, 国際社会の背景にある多様な文化・社会を理解する能力を身につけている。

地域デザイン領域の学修到達目標 DP7-2

- ・ 現在の経済社会が置かれている現状を的確に把握・理解するとともに, 我が国もしくは地域社会の諸問題を分析し, これを解決する意欲をもっている。
- ・ 現代の経済社会及び地域社会の発展に貢献するための能力を身につけている。

社会イノベーション領域の学修到達目標 DP7-3

- ・ 企業の構造や行動, 経営管理の諸側面, 経営の歴史に関する知識を修得している。
- ・ 複雑で急速な経済社会の変化に対して, 自主的・積極的に対応し, 新たな価値を創造する能力を身につけている。

経済学部のカリキュラム・ポリシー

長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、経済学部生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

また、幅広い学問領域の知識を修得できるよう多様な科目を提供するとともに、考えを論理的に伝える発信力、実践的課題に対する問題解決力、新たな価値を生み出すことができる価値創造力を身につけるための授業を行います。

- ・ CP1：現代社会に内在する課題を発見、これを探求し、解決しようとする意欲を養うために学部導入科目を配置する。
- ・ CP2：経済・法律・経営・会計といった社会科学分野の知識を幅広く身につけるために学部共通科目を配置する。
- ・ CP3：経済もしくは経営分野にかかる高度な専門知識を身につけるためにコース科目を配置する。
- ・ CP4：身につけた専門知識を駆使して、現代社会の課題を解決する応用力を身につけるために領域科目を配置する。
- ・ CP5：獲得した知識を駆使して新たな価値の創造を図るとともに、主体的にこれを発信する能力を身につけるため、少人数教育による演習科目を配置する。
- ・ CP6：変化の激しい現代社会の課題に迅速に対応するとともに、自らのキャリア形成のために多面的に先端的知識を活用する力を身につけるために自由専門科目を配置する。

科目に関する別表

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	課題発見及び探求力	社会科学概論 経済概論 経営概論 国際関係概論 法学概論 経済数学入門			
	社会科学に関する横断的基礎知識		ミクロ経済学 A/B マクロ経済学Ⅰ -A/B 経営学 簿記Ⅰ／Ⅱ 統計学Ⅰ／Ⅱ 経済数学Ⅰ／Ⅱ		

	経済に関する高度な専門知識			応用マクロ経済学 産業組織論 応用ゲーム理論 国際経済学Ⅰ／Ⅱ 公共経済学 A 財政学Ⅰ／Ⅱ 労働経済学 経済政策Ⅰ／Ⅱ 計量経済学Ⅰ／Ⅱ 金融論Ⅰ／Ⅱ 経済法Ⅰ／Ⅱ 憲法 民法Ⅰ／Ⅱ 商法Ⅰ／Ⅱ	
	経営に関する高度な専門知識			経営戦略論 経営組織論 マーケティング 経営管理論 労務管理論 財務会計Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ 原価計算論Ⅰ／Ⅱ 企業ファイナンス 企業論 経済法Ⅰ／Ⅱ 憲法 民法Ⅰ／Ⅱ 商法Ⅰ／Ⅱ	
	国際問題への知識の応用と課題解決			アジア経済論 ヨーロッパ経済論 世界経済論 開発経済学Ⅰ／Ⅱ 国際関係論Ⅰ／Ⅱ 国際協力機構論 国際開発論 多言語多文化社会論 異文化コミュニケーション論 英語ビジネスコミュニケーションⅠ／Ⅱ Academic Reading	

					Academic Presentation & Discussion Economics Subjects in English
	地域課題 への知識 の応用及 び課題解 決				地方財政論 地域経済論 地域政策論 経済学説史 公共経済学 B 日本経済論 経済統計 I / II 日本経済史 A/B 行政法 租税法 証券投資論 銀行論 証券論 保険論
	社会変化 に適応す るための 知識の応 用及び課 題解決				経営情報論 経営情報システム論 中小企業論 マーケティング・リサーチ 現代会計 管理会計論 A/B 意思決定論 オペレーションズ・リサーチ I / II ビジネス・リサーチ プロジェクト・リテラシー 経営戦略ケーススタディ 経営情報処理 数理計画法
	知的価値 の創造と 発信		国際ビジネス領域 演習 地域デザイン領域 演習 社会イノベーション領 域演習	専門ゼミ プロジェクト演習	卒研ゼミ

経済学部のアドミッション・ポリシー

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎，大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等	基礎的学力が身につけている	論理的思考力が身につけている	コミュニケーション力が身につけている	学習意欲，主体性や行動力がある
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(思考力等)	(思考力等)	(主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎	◎			
	自己推薦書		○		◎	
	調査書				○	
	面接（プレゼンテーション型）		◎	◎	◎	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録			○	○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○		○		
	日本留学試験	◎		○		
	面接			○	○	